



現在の藤代駅北口(上段)と整備後のイメージ図(下段)

議員提出議案

意見書

●国民の基本的な人権を脅かす「組織的犯罪処罰法改正案」(「共謀罪」)の廃案を求める意見書：否決

〔提出者〕 関戸議員他1人
齋藤議員：東京オリ・パラリンピック等、世界が注目する国際大会をテロの標的にさせてはならない。テロ等準備罪法案は国際組織犯罪防止条約の締結に必要な国内法の整備。テロ等、国際的な組織犯罪を未然に防止するためには、国際社会の協力が不可欠。成熟した

もいわれており、国民の反対で3回も廃案になった法案。国会の質疑でも矛盾や危険性は明らか。賛成。

●森友・加計学園疑惑についての真相の徹底解明を求める意見書：否決

〔提出者〕 加増議員他1人
関戸議員：国民共有の財産を格安で売り払う重大な問題。岩盤規制を打ち砕く規制改革と言いつつ、加計学園のみが合格するように仕向けた経過は、都合のいいように定めた規制。政治の私物化と言えぬ疑惑であり、真相の解明を求めるのは当然のこと。賛成。

決議

●いじめによる「重大事態」に関する決議：否決

〔決議案の概要〕

民主主義と司法手続、マスコミなどによる監視が行き届いている現在、治安維持法と同等の問題が生じる可能性は皆無と考える。反対。
岩澤議員：テロを含む組織犯罪を未然に防止するため、国際組織犯罪防止条約の締結は急務。犯罪の実行準備行為があつて初めて処罰の対象になることや、一般人が処罰の対象にならないことが明確になったことを踏まえ、反対。

小池議員：憲法は、思想、内心、表現の自由を保障しており、今の法律は相談や計画を罪の対象にはしていない。この大原則を覆す共謀罪であり、憲法違反。「現代版治安維持法」と

小池議員：一議員としての役割が十分に果たせなかったことを深く反省。反省と後悔を繰り返しながら事実と向き合い、真実を真摯に受け止め、努力を惜しまずに進んでいく。賛成。

議員の研修に職員も尽力

市の議員も、定例会の開催中でないときや、閉会中に委員会などが開催されて



いないときには、それぞれが議員活動を地域で行ったり、自己研さんを積む研修に参加したり、先進地へ赴き視察したりと、活動はさまざまです。写真は、市の議会棟で議員が閉会中に行つた研修の一コマです。

講師は議会事務局職員。4月に市の財政課と市民課から異動してきたばかりでしたが、前の職場の知識を生かした講義をしてほしいと、この日は会派から依頼がありました。また別の日には、議会改革や質問力について学びたいと、近隣市の議員も交えた研修会にお声掛けされました。

講師となった職員は市の財政の読み解き方や、マイナンバー制度について資料

市内踏切を委員会視察 県に意見書提出

建設経済常任委員会では、平成26年第1回定例会で採択された「踏切の危険個所に関する陳情」について、その後の状況を確認するため、該当する市内踏切の視察を行いました。

市道部分の「落とし踏切」は、カラー舗装により歩行者通行部分の明示がされています。しかし、県道部分の「陸前浜街道踏切」は、改善されていないため、大変危険な状況のままである

ことを視察で確認しました。建設部から毎年度、県に対して要望書が提出されていますが、この状況を踏まえ、議会として意見書案を作成し、本会議に上程。最終日の採決の結果、全員賛成で可決し、県知事に対し、意見書を提出しました。議会では、今後の対応を注視していきます。

〔意見書の概要〕

陸前浜街道踏切は歩道がなく、歩行者や自転車にとって非常に危険な状態である。また、近隣小中学校の通学路にも指定されてお



陸前浜街道踏切を視察する委員

り、安全な通行の確保は急務である。よって、取手市議会は当該踏切への歩道設置を強く要望する。



などを用意して説明。議員からの熱心な質疑に丁寧に答え、研修内容への理解がより一層深まることとなりました。講師を務めた職員は「緊張しましたが、お役に立てればうれしいです」と感想を話していました。